

主 直 日 誌

4月 22日（水） 天候bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

課業：航海英語、投錨作業、落水者救助操船実習（航海2年）

【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

今航海は専攻科として初航海ということもあり、覚えることがたくさんあり大きく成長できたと思います。舵を握り操船し、ECDISやレーダー等の操作の仕方、ワッチ中の注意点など船員さんから教えていただきました。ブリッチワークや投錨、揚錨作業に関しても、これからは私たちが行うので一生懸命覚えました。また、勉強の面でも二級海技士取得のため時間を上手く使い自主的に勉強できたのでこれからも続けていきたいと思います。狭水道や航路を航行する時の法律や操船はもちろん大切ですが、航路が存在しなく、たくさんの船舶がふくそうする潮岬などは分離線がある備讃瀬戸航路より、もっと危険であるということも教わりました。将来大型船に乗ることができるよう勉強や技術の向上に努めたいと思います。

4/22 facebook



実習船 やいづ

作成者: 栗山 朝充 · 17時間前 ·



鳴門海峡～焼津沖へ

鳴門海峡の渦潮を超えて焼津沖まで帰って来ました。
母港の焼津港が見え、明日の入港を待つばかりですが、実習はまだ終わりません。

航海の2年生は乗船実習の集大成として、人命救助操船実習を行いました。素早く人命を救助するための操船方法は教科書に書かれていますが、実際に実習船やいづを操船し、図上の想定との違いを体験する貴重な機会です。

それぞれが船長、操舵手、機関操作を担当し、専攻科生のみで人に見立てた浮きを救助しましたが、思うようにはいきませんでした。

知識と経験が伴って始めて自分の実力となっていきます。これから始まる学校での座学で更なる精進を重ねていきます。

